

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和3年11月18日（木）

【照会先】

市国際交流協会

（市民課人権・市民交流係内）

担当：松川 TEL 0599-25-1162

鳥羽市社会福祉協議会

担当：前田 TEL 0599-25-1188

THE PEACE CRANE PROJECT（ピースクレーンプロジェクト）

姉妹都市サンタバーバラ市と鳥羽市が平和のメッセージを書いた折り鶴を交換し、世界平和を祈願

- 概要：市国際交流協会と社会福祉協議会が連携し、鳥羽市と姉妹都市であるサンタバーバラ市の学校間での平和交流を図るため「THE PEACE CRANE PROJECT」へ参加します。サンタバーバラから届いた折り鶴を市からプロジェクトへ参加する小中学校へ渡します。
詳細は別紙のとおりとなります。
- 日時：11月22日（月） 午後4時～午後4時30分
- 場所：鳥羽東中学校（取材が可能な学校です。）
- サンタバーバラ市との交流の経緯：鳥羽市と、アメリカのカリフォルニア州サンタバーバラ市は1966年（昭和41年）3月24日に姉妹都市提携を結びました。文化、産業の交流をはかり、親善と友情を深めるための姉妹都市提携により、これまで親善使節団の訪問や中学生派遣事業などを行っています。

※サンタバーバラ市の学生の写真が必要であれば、市国際交流協会 松川まで

～THE PEACE CRANE PROJECT (ピースクレーンプロジェクト)～
姉妹都市サンタバーバラ市と鳥羽市が平和のメッセージを書いた折り鶴を交換し、世界平和を祈願

市国際交流協会と社会福祉協議会が連携し、鳥羽市と姉妹都市であるサンタバーバラ市の学校間での平和交流を図るため「THE PEACE CRANE PROJECT (ピースクレーンプロジェクト)」へ参加しています。

ピースクレーンプロジェクトとは、世界平和を促進し、平和の意識を高めるために、アメリカのイラストレーターであるスー・デチッチョさんによって2013年9月21日(ピースデー)に発足されました。

ピースクレーンとは、1945年に広島へ投下された原爆による被爆者で、戦争の犠牲者である佐々木 禎子さん(1943-1955)の物語をもとに、平和のシンボルとして使用される折り鶴です。佐々木さんは、亡くなる前に千羽鶴を折ったと言われ、広島平和記念公園にある原爆の子像のモデルにもなっており、世界で最も広く知られている被爆者の一人です。

このプロジェクトは、参加者が折り鶴を折って、別の都市の誰かと折り鶴を交換し、交流する企画で、世界中で行われています。今回、アメリカカリフォルニア州サンタバーバラ市の小中学校と、鳥羽市内の参加を希望する小中学校が交流します。

鳥羽から折り鶴を9月末にサンタバーバラへ送付し、相手校へ届けました。今回、相手校から折り鶴が市内の参加小中学校へ届けられます。集まってきたたくさんの折り鶴には、羽に平和や反戦のメッセージが書かれていて、世界規模で戦争や平和を考えるきっかけや、各学校同士の交流につながっています。

○参加校

・鳥羽市

小学校4校(鳥羽小、答志小、神島小、安楽島小) 253人

中学校5校(鳥羽東中、答志中、神島中、加茂中、長岡中) 375人

・サンタバーバラ市

小学校4校(Cold Spring、Peabody、Franklin、Santa Barbara Charter School) 316人

中学校2校(La Colina、Goleta Valley) 150名

